

新制大学神学部50周年特別記念号の刊行に寄せて

神学部長 神 田 健 次

関西学院の創設とともに開設された神学部は、戦時下の状況において一時閉鎖を余儀なくされましたが、戦後、学院の熱い祈りと支援により1947年に文学部神学科として開設され、さらに52年には文学部から独立して新制大学神学部として再出発しました。今年度、50周年を迎え、『神学研究』記念号を刊行することができたことは、格別の喜びであり感謝であります。

神学部の学術紀要としては、戦前において、青山学院神学科と共同で『神学評論』を刊行（1914-41年）していましたが、新制大学神学部開設と同時に『神学研究』として新たに創刊されました。その創刊号の「序文」において、初代のH.W.アウターブリッジ神学部長は、総合大学における神学部として整備された学部においてこの新たに刊行される学術誌が、「学部内と多くの読者の間でますます重要な役割を果たしていただきたい」という希望を表明しております。この半世紀に及ぶ神学部における学問的研鑽の成果は、実際に日本の教会とキリスト教界に貢献するものとして、そのような期待に応えることのできる内実を備えたものであったと思います。

この50周年を機に、『神学研究』が学部の学術的研鑽の指標として、日本のキリスト教界に一層貢献してゆけるために努力いたしたいと願っております。